

教 育 課 程 等 の 概 要

(工学研究科先端工学専攻(D))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
先端工学研究部門	無機材料特論	1・2 前・後		2		○			3	3	1			
	有機材料特論	1・2 前・後		2		○			1	2	2			
	機械工学特論	1・2 前・後		2		○			4	2				
	機械システム工学特論	1・2 前・後		2		○			4	1				
	先端工学特論	1・2 前・後	2			○			12	8	3			
	先端工学特別演習	1~2 通	2				○		12	8	3			
	先端工学特別研究	1~3 通	—					○	12	2				
合計(7科目)		—	4	8			—		12	8	3			兼0
学位又は称号	博士(工学)		学位又は学科の分野			工学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
博士後期課程に3年以上在学し、所定の授業科目を履修し、8単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること。						1学年の学期区分			2学期					
						1学期の授業期間			15週					
						1時限の授業時間			90分					

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。